

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	商工部商業観光課		■担当係	観光物産係
■評価事業名称	北上・西和賀観光連絡協議会負担金(事務局事務含む)			
■評価事業コード	060200 - 053	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり		
	■基本施策	02 活気ある商工業と観光の振興		
	■施策	04 地域資源を活かした観光の振興		
■事業の類型	06 負担金・補助金(ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	北上・西和賀地域の観光・物産事業の振興、観光誘客の促進による地域活性化。西和賀・北上味めぐりフェスタの開催。いわて銀河プラザ等の各種物産展。地域ぐるみ観光支援事業実施。観光誘客事業。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	北上・西和賀観光連絡協議会負担金(事務局事務含む)	協議会・会員12団体		1 観光物産展 ①銀河プラザ 2回 ②東京都内 5回 ③市内県内観光物産展等 3回 ④仙台 1回 2 誘客促進 広告1回。

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	1,126	1,154	748	755	
人件費	4,117	4,827	3,487	4,013	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	5,243	5,981	4,235	4,768	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	事業実施回数	12回	12回		11回	総会①、観光物産PR事業⑩
02	観光物産展等のPR回数	12回	11回		11	仙台PR①、県外観光物産PR事業⑤、味めぐりフェスタ①、県内観光物産PR①、味めぐりフェスタ①、まるごとフェスタ①、いわてDC①

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

03	物産展の開催及びイベントにおける物産販売額	482万円	482万円		256万円	出展者の売り上げ集計
04	事業実施1回あたりコスト	346千円	401千円		15万円	
05	観光物産展1回あたりコスト	346千円	438千円		20万円	

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- ☐ A. 順調
☒ B. 概ね順調
☐ C. 遅れている

達成状況の分析

首都圏を中心に観光PRおよび物産販売を行った。いわてDCでは北上駅前で物産展を行った。

問題点・課題等

事業内容が物産展に偏りがち。観光のPRをどう強化するか。

1. 直接的な受益者の範囲

- ☐ 不特定多数に及ぶ
☒ 特定されるが多数に及ぶ
☐ 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- ☐ 大きな不利益やリスクが生じる
☒ ある程度の不利益やリスクが生じる
☐ 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- ☐ 類似の事業はない
☒ 類似の事業はあるが競合はない
☐ 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ☐ ニーズが高まっている
☒ ニーズは変わらない
☐ ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- ☐ 順位が高い
☒ 順位が中程度
☐ 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- ☒ 順位が高い
☐ 順位が中程度
☐ 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- ☐ 先進的またはユニークな事業である
☒ 他と同程度の事業である
☐ 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- ☐ 民間委託等の拡充は難しい
☒ 民間委託等の拡充が十分に可能
☐ 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- ☐ 今以上の効率化や改善は難しい
☒ 効率化や改善を図ることは十分に可能
☐ 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- ☐ I. 拡充
☒ II. 継続
☐ III. 縮小・要改善
☐ IV. 民間活用・協働事業化
☐ V. 廃止・休止
☐ VI. 完了

補足説明